

神奈川県民ホールの開館

神奈川に
新しい芸術の波を



開館当時の写真(中央左側の白い建物) 出典:神奈川県民ホール40周年記念誌

文化の時代の幕あけ

昭和40年代半ば、「600万県民に心の森を贈る」をスローガンに、神奈川県民ホール建設計画がスタートしました。そして、昭和50（1975）年1月に横浜港を望む地に全国屈指の大型文化施設として県民ホールが開館しました。以来、国内外のオペラやバレエ、オーケストラやポップスのコンサート、合唱や吹奏楽のコンクールなどに至るまで、50年間幅広いジャンルの催しが行われました。また、県内屈指の規模を誇るギャラリーでは、神奈川県美術展や新進気鋭の作家の個展などが数多く開催されました。

しかし、施設の老朽化などにより令和7（2025）年4月に惜しまれつつ休館しました。現在は、建替えによる再整備を検討しています。



どんちよう
大ホール緞帳「かながわ」原画:加山又造
出典:神奈川県民ホール40周年記念誌

昭和
100年

かながわ「昭和100年」

つながる心、ともに未来へ